



令和 2 年 10 月 16 日  
海 上 保 安 庁

## 海保が陸上における都市型搜索救助訓練実施 ～全国から海上保安庁の国際緊急援助隊登録隊員が集結～

海上保安庁では、国際緊急援助隊登録隊員の対応能力向上を図るため、特殊救難隊 19 名及び全国から機動救難士 12 名を集結させ、10 月 20 日から 23 日までの間、横浜海上防災基地において都市型搜索救助訓練を開催します。

※都市型搜索救助とは、瓦礫の下に取り残された生存者に対する位置特定、閉鎖空間からの救出活動、生存者の容体を安定化するための応急処置を柱とする一連の救命・救出活動を指します。

### 1 実施日時等

実施日時：令和 2 年 10 月 20 日（火）から 23 日（金）までの間

実施場所：第三管区海上保安本部 横浜海上保安部 横浜海上防災基地  
（神奈川県横浜市中区新港 1 丁目 2 番 1 号）

参加隊員：第三管区海上保安本部 羽田特殊救難基地隊員 19 名  
航空基地機動救難士（一～十一管区（三、四、六管区除く））12 名

### 訓練内容

20 日：倒壊危険のある建物の安定化及び瓦礫の移動訓練

21 日：倒壊危険のある建物の安定化及び構造物等の破壊・除去訓練

22 日：倒壊危険のある建物の安定化及び構造物等の破壊・除去並びに  
ロープを活用した隣接建物からの要救助者救助訓練

23 日：ロープを活用した隣接建物からの要救助者救助訓練

### ○昨年度の訓練の様子



### 2 経緯

海上保安庁では国際緊急援助隊の派遣に関する法律に基づき、海外の地域における大規模な災害の発生等に際し、関係省庁等で構成される救助チームの一員として国際緊急援助活動を行っています。

本訓練は国際緊急援助隊の救助チームとして参加する海上保安庁が独自に実施するものであり、地震等により生じた倒壊建物における被災者の捜索・発見、救出、安全な場所への搬送といった各種救助訓練となります。

我が国の救助チームは、各国の都市型捜索救助チームを三段階で評価する世界的制度において、最高分類の評価を受けており、直近では平成 29 年のメキシコ地震に派遣されるなど、海外における大規模災害への多数の対応実績があります。